



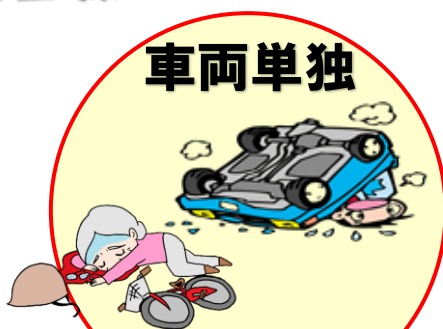
令和7年中の県内の交通死亡事故(30件30人)

令和7年中の県内の交通人身事故発生件数は平成13年以来の増加となり、交通事故死者数は30人で、前年より8人増加しました。

● 事故類型別死者数 () 内は高齢者数 (内数)



14人 (13人)



11人 (7人)



5人 (3人)

※「車両」には自動二輪車や自転車等の軽車両も含まれています。

● 交通死亡事故の特徴

死者の7割以上が高齢者！

死者30人中、65歳以上の高齢者が23人（構成率76.7%）と8割に迫る勢いで、前年の16人（同72.7%）に比べ人数、構成率ともに増加しました。

依然として高齢者が被害者となる死亡事故が多く発生しています。



車両単独事故が増加！

死者30人中、車両単独事故による死者は11人で、昨年の6人より5人増加しました。そのうち自動車単独の死者は7人、自転車単独は3人、その他単独が1人でした。

また、単独死亡事故のうち、昼間に発生した事故は6件で、夜間に発生した事故は5件でした。

高齢歩行者の横断中の事故が多い！

死者30人中、歩行中の事故死者は14人と約半数を占めました。そのうち、横断中の事故死者は10人で、全て高齢者でした。

横断中の事故のほとんどが、ドライバーから見て右から左への横断中の歩行者と衝突する事故でした。



歩行者事故の多くは夜間に発生！

歩行中の死者14人のうち、夜間の死者は11人と8割弱を占めました。

夜間の死者のほとんどはLEDライトや反射材等光るものを着用していませんでした。



1 県内の交通事故発生状況(1月27日現在)

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	105	1	115
前年	160	3	173

2 交通事故死者数の年代別

年代	64歳以下	65歳以上	合計
本年	-	1	1
前年	-	3	3

- 毎月第二・第四水曜日（祝日、年末年始を除く）に新情報をメール配信しています。（申込方法は県警ホームページ参照）
- 二次元コードからSD情報掲載のホームページに直接アクセスできます。

